



関中学校だより

第7号

平成28年2月22日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

素直な「能力」

校長 勝亦章行



関中学校の屋上から見た「富士山」

先日ある研修会で講師の方から印象ある話を聞いたので紹介します。その講師は、飲食業を営んでいる社長で、年収100億円、店舗100店を目指して全国規模で展開している方です。

飲食業のため多くのアルバイトを雇っています。アルバイトの年齢層は、多くが大学生で、高校生もいるとのこと。今まで雇ったアルバイトの人数は1万人以上で、その1万人のアルバイトに直接話をしてきたとのこと。その話のキーワードは、次ぎの三つです。

・若いということ ・仕事を好きになること ・素直な能力

「若いということ」 大学生、高校性にとって、若さは特権である。将来性があり、大きな可能性をもっている。若さを大事にしよう。

「仕事を好きになること」 仕事は社会で生きていく以上必要なことである。苦しくてもやらなければならない。どうせやるならば、仕事を好きになってやるのが大切である。好きになれば、頑張れる。

「素直な能力」 自分(社長)も以前は、「素直」とは性格であると考えていた。しかし、仕事を通して「素直」とは「性格でなく、能力である」と確信した。「能力」であれば、努力して身に付けることができる。先輩達が指導するときに、それを素直な姿勢で受け取り、自分自身で考え理解し、次の行動に役立てることができる人は、必ず将来伸びる。多くのアルバイト学生が、本来の職業に就き頑張るときに、この「素直な能力」が大切な能力となる。

話を聞いて「素直な能力」については、その通りだと思いました。まず素直な気持ちで、先輩や先生方からの指導や助言を受け入れ、自分で考え、取り入れるものは取り入れて、自分を高めていく態度は、大切な資質だと思います。「素直な能力」を身に付けましょう。

2月・3月 行事予定

日	曜	予定
1	月	朝礼(放送にて)
2	火	都立高校推薦合格発表日
3	水	区中研研究発表会
4	木	都立高校出願 2年スキー教室事前相談日
5	金	漢字検定、心の相談員来校
8	月	第2回新入生保護者説明会、中央委員会、SC来校
10	水	3年私立高校入試 2年期末考査
11	木	建国記念の日、3年私立高校入試
12	金	3年私立高校入試、 2年期末考査、心の相談員来校
13	土	2年期末考査(最終日)
15	月	生徒会朝礼、避難訓練、SC来校、学習発表会実行委員会
16	火	P T A運営委員会、 2年スキー教室前日指導
17	水	2年スキー教室(軽井沢)
18	木	2年スキー教室
19	金	2年スキー教室
20	土	2年スキー教室(最終日)
22	月	2年振替休日、SC来校
24	水	3年都立高校入試、職員会議
25	木	1・3年期末考査
26	金	1・3年期末考査、心の相談員来校
29	月	1・3年期末考査、SC来校、学習発表会実行委員会
3月		
2	水	1年保護者会、SC来校
3	木	3年保護者会、3年球技大会
4	金	心の相談員来校
5	土	学習発表会
7	月	振替休日
8	火	2年保護者会
9	水	職員会議
11	金	3年校外学習
18	金	卒業証書授与式

校内書き初め展

冬休みの宿題でもあった書き初めですが、生徒の作品を各教室に掲示しました。そして、国語科の先生が審査し、「金」「銀」「銅」を決めました。各学年の書き初めの課題は、次の通りです。

1年	初春の光	梅花の香
2年	春の到来	紅梅の里
3年	健全な社会	成就の喜び



各教室に展示された書き初め

練馬区中学校生徒作品展（1月9日～13日）

練馬区内中学校の美術科の作品、技術・家庭科の作品、特別支援学級の作品を集め、練馬区立美術館を会場に、生徒作品展が、1月9日～13日の4日間（美術館休館日を除く）開催されました。

各教科の先生の指導のもとに、中学生の豊かな創造力と感性から生み出された力作が展示されました。関中学校からも、力作が並べられました。



家庭科の作品（トートバック等）



美術科の作品（自画像・修学旅行色紙）



美術科の作品（アートクロック）



布絵本

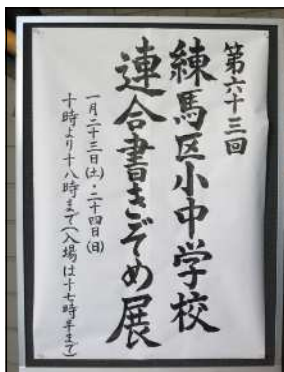


技術科のキーホルダー



第63回 練馬区小中学校連合書きぞめ展（1月23日～24日）

平成28年1月23日～24日の2日間、練馬区立美術館で、第63回 練馬区小中学校連合書きぞめ展が開催されました。関中学校からは、12人の生徒の書き初めが展示されました。



第14回 生徒会長サミット（練馬区内中学校も、関中も含め11校参加）

1月30日（土）に関中学校で、第14回 東京都生徒会長サミットが開催されました。東京都の公立中学校の77校の生徒会役員が集まり、テーマに沿っての意見交換や質疑応答、各校の取組を報告など、大変有意義な会となりました。関中生徒会役員も参加し、運営生徒として準備や分科会の司会記録などを手伝いました。

1. 開催日時 平成28年1月30日（土） 午後1時～午後4時
2. 会場 練馬区立関中学校
3. 参加生徒 各校の生徒会長または副会長（都内77校参加。内11校が練馬区内中学校）
4. 内容 ・「助け合い 励まし合う 仲間づくり」をテーマとして、実践報告

実践校1 狛江市立狛江第一中学校生徒会の取り組み
実践校2 世田谷区立尾山台中学校生徒会の取り組み

・他校との意見交換・情報交換（6分科会に分かれて）




第14回 中学校生徒会長サミットの全体会の様子（関中学校体育館にて）

77校の生徒会長、副会長が参加。引率の先生も参加して、全体会を行いました。都中学校特別活動研究会会長の長谷川晋也校長（墨田区立本所中学校）から挨拶がありました。

実践校 狛江市立狛江第一中学校生徒会の取り組み（概要）

狛江第一中学校では、「いじめ防止のための生徒会の歌」を作りました！
 全校生徒に歌詞のキーワードを募集し、生徒会役員がキーワードに基づき歌詞を作り、大野靖之氏の協力を得て作曲してもらったとのこと。それを、道徳授業地区公開講座で発表しました。
 歌の題名は、「ともに」です。学校のHPにもアップするとのこと。

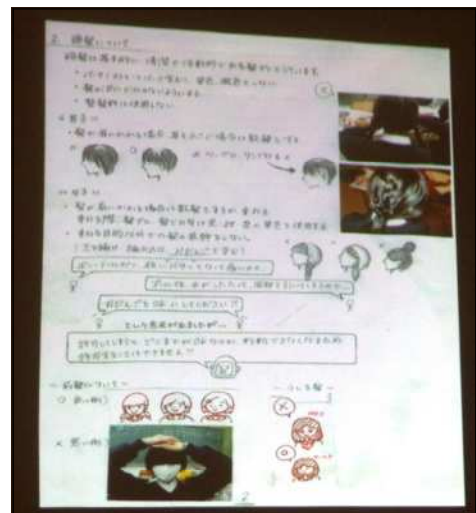
<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">「ともに」</h1>	
作詞：狛江市立狛江第一中学校生徒会 作曲：大野靖之	
<p>1 僕は最後に門を出た 星や月が雲に隠れる そんな帰り道を僕は歩く</p> <p>前を見ると見覚えがある目立つ靴 「一人きり」なんて言葉が 似合わないあいつの寂しそうな背中に</p> <p>どうしたんだよ 僕だって 負けてしまいそうなことがあるよ でも、悩まなくて いいんだよ 僕の周りには たくさんの人が いるんだ 一人じゃない</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>2 気づけばいつのまにか 星や月がほら見えてきた そんな帰り道を僕ら歩く</p> <p>君と僕の心の距離が縮まった 気付いてあげられなくてごめんね 話してくれてありがとう</p> <p>どうしたんだよ 僕だって 涙があふれることがあるよ だから頼っていいんだよ 僕らの周りには沢山の人がいるんだ 一人じゃない</p> <p>どうしたんだよ 誰だって 笑顔になれる時があるよ そんな時は思い出して みんながいるから笑えた んだ 君の笑顔をずっと待っている</p> <p>君は一人じゃない 誰かが君を必ず想ってくれているよ ららら・・・</p>

実践校 2 世田谷区立尾山台中学校生徒会の取り組み（概要）

学校を良くするために、生徒会役員として
 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで活動する力」を大切にして、高めていく活動を展開しているとのこと。

3つの活動を紹介してくれました。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域清掃活動「クリンクリン」 (2) 学校生活の教科書「おやナビ」 (3) 残菜ゼロ運動「まんぶく」 | 有志による地域清掃活動を展開
学校生活のきまりやルールを分かりやすく説明(下の写真)
残菜ゼロを目指しての運動を展開 |
|--|--|



6つの生徒会長サミット分科会の様子

司会、記録は、生徒会役員が行いました。いじめをなくすためにどうするか、ボランティア活動など、様々なことについて、活発に意見交換が行われました。関中生徒役員会も参加し、第二分科会の司会・記録を行いました。



6つの分科会に分かれて、熱心に協議・情報交換・意見交換をしました。



関中生徒会役員も司会・記録となりました。

保健体育科「剣道の授業」(12月26日～1月12日)

関中学校では、保健体育科の「武道」は、剣道を行っています。(必修になった武道は、剣道、柔道、相撲から選ぶことになっている。)

1, 2年生は、2時間の剣道の授業を行いました。練馬区剣道連盟の先生が指導してくれました。

とても寒い日が続きましたが、生徒たちは、素足で気合いを入れて授業を受けました。

「武道」は、我が国固有のものであり、単なる技の習得でなく、心の鍛錬という要素があります。「心技一体」「礼に始まり 礼で終わる」という言葉もあります。授業では、基本動作、礼法、竹刀の握り方、構え、体さばき、素振りなどを行いました。



児童・生徒表彰式（1月21日）

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において、一生懸命努力している子どもたちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

1月21日（木）に練馬区立生涯学習センターで、スポーツ・文化芸術などで活躍した個人（156人）団体（5組）が表彰されました。関中学校では、個人（8人）団体（1組）が表彰を受けました。

	学年	氏名	表彰理由		団体名	推薦理由
個人 の 部	2年	菊 美穂	水泳で優秀な成績	団体 の 部	剣道部	剣道 で優 秀な 成績
	2年	木村 佑	水泳で優秀な成績			
	2年	土屋 菜々	水泳で優秀な成績			
	3年	小川 大輝	剣道で優秀な成績			
	3年	佐藤 未奈	水泳で優秀な成績			
	3年	長島 実桜	水泳で優秀な成績			
	3年	中駄 凜太郎	野球で優秀な成績			
	3年	吉田 翔	剣道で優秀な成績			



いじめ防止実践発表会（1月25日）

練馬区教育委員会では、いじめ撲滅のために毎年、いじめ防止実践発表会を行っています。今年は、いじめ防止ポスターの作成の年でした。各小中学校から出品された中から、優秀な作品をいじめ防止実践発表会で紹介し、賞状伝達が行われました。中学校の部では、練馬区立北町中学校2年橘川さんの作品（いじめ禁止！）が最優秀となりました。以下の写真は、関中学校の作品で、校内展示しました。



第50回 練馬区立中学校連合ダンス発表会（1月26日）

平成28年1月26日（火）練馬区立練馬文化センター大ホールで、第50回 連合ダンス発表会が開催されました。この連合ダンス発表会は、練馬区としては50回目であり、伝統的な連合行事です。

保健体育科では、ダンスは必修となっています。ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」から選択することになっています。連合ダンス発表会は、生徒たちが考えた創作ダンスを発表するものです。区内34校の発表が行われました。

関中学校は、1年生女子が校内選考会を経て、1年B組が関中学校の代表として参加しました。自分たちで考えたダンスを精一杯表現しました。

関中学校1年B組 作品名「15人少女の青春」（15人の少女たちがスポーツをし、祭りに行く時には恋愛をしたりと、HAPPYな青春ストーリーです。）

平成27年度 第33回 若鷲旗剣道大会 優勝

内閣総理大臣杯授与「若鷲旗剣道大会」は、兵庫県立武道館を会場に、各都道府県から推薦された学校115校が集い開催されました。

平成27年12月25日～28日で、最初に3日間は予選リーグ戦、最後の日に若鷲旗剣道大会がトーナメント戦で開催。

関中学校は、12月25日まで授業があるため2日目から参加しました。本大会では、見事、優勝することができました。



平成27年度 ねりま小中一貫教育フォーラム（1月22日）で発表しました。

練馬区教育委員会では、「小中一貫教育」を大きな柱としてその充実を図っています。練馬区教育委員会が取り組む小中一貫教育は、

従来からそれぞれの小中学校で目指してきた学力・体力の向上や豊かな人間性・社会性の育成、安定した学校生活に向けて、小学校と中学校が連携・協力し、9年間を見通して地域の子どもを育てる視点をもつことで、より一層の教育効果をあげようとするものです。

石神井台小学校・関町北小学校・関中学校の3校は、一つの研究グループとして、平成26年度、平成27年度の2年間、研究を進めてきました。

平成28年1月22日、練馬文化センター小ホールで、7つの研究グループと小中一貫教育校の大泉桜学園関中が成果と課題を発表しました。石神井台小学校・関町北小学校・関中学校研究グループも発表を行いました。

私たちのグループでは、研究主題を「中1ギャップの解消を図るための小中一貫教育の工夫」として、3つの分科会をつくり研究をしました。3つの分科会とは、

教科分科会（国語、算数・数学、外国語活動・英語）・・・小学校と中学校の学習指導上の課題や指導法を情報交換し、課題解決カリキュラムを作成し実践する。

交流分科会・・・小学校と中学校の様々な交流を図る。

スタンダード分科会・・・生活規律及び学習規律の指導について、情報を共有し、児童・生徒の発達段階を踏まえながら、よりよいものを目指す。

それでは、「練馬区小中一貫教育研究報告書3」（平成28年1月 練馬区教育委員会発行）から、児童・生徒の交流を中心にまとめたものを紹介します。

1 研究主題 中1ギャップの解消を図るための小中一貫教育の工夫

2 児童・生徒の取組

（1）小学生の中学校訪問

関町北小学校2年生7名が、生活科の「まちたんけん」で関中学校を訪問した。中学生の授業の様子や学校図書館などを見学した後、中学校の先生に質問をして、中学校のことを調べた。

石神井台小学校6年生の約50名が5校時に関中学校を訪問し、生徒会役員から挨拶を受けた後、全教室を回って授業見学を行った。



(2) 中学校生徒作品の展示

中学校2年生制作の「職場体験新聞」を参考にして、石神井台小学校3年生が自分たちで育てた練馬大根についての新聞づくりを行った。新聞の名前の工夫、見出しは文字を大きくすること、写真や絵を取り入れること、強調したい部分や言葉には色を取り入れることなどに気付いた児童は、それらを十分に生かした新聞づくりを行われ、中学生の「職場体験新聞」は、校内に掲示することができた。



(3) 小学校への職場体験

関中学校2年生が石神井台小学校・関町北小学校で職場体験を行った。用務主事や教員の仕事のお手伝いを行った。授業の中では、分からない問題がある児童にアドバイスをしたり、一緒に清掃を行ったりした。最終日には、児童から感謝の言葉が贈られた。

(4) 部活動見学

夏休み前に、近隣の小学校に新入生保護者説明会の案内を配布し、説明会后に部活動見学を行った。当日は、運動部、文化部の各活動場所を保護者とともに、たくさんの児童が見学に訪れた。



(5) あいさつ運動

関中学校生徒会と石神井台小学校児童会合同のあいさつ運動を行った。互いの学校でのあいさつ運動は、時間帯も異なる点があるものの、新鮮な体験となった。



(6) 海外派遣報告

練馬区立中学校生徒海外派遣生として、関中学校の代表生徒2名が、関町北小学校でオーストラリアの歴史や環境、学校の様子などを報告し、中学校生活への興味・関心を高めた。

(7) ウィンドアンサンブル部演奏会

関中学校のウィンドアンサンブル部が、学習発表会の振替休日を利用して関町北小学校を訪問して演奏会を行った。

(8) 中学校合唱コンクールDVDの活用

身近な関中学校合唱コンクールのDVDの視聴を授業展開に取り入れることにより、関町北小学校5年生は自分たちの合唱の響きとの違いについて考えることができた。

これまで小学校の二部合唱で分かれていたソプラノ・アルトが実は女声パートであり、低音部のテノール・バスが男声パートであることを、授業を通して理解した。さらに、児童の二部合唱と生徒の混声四部合唱の比較から、低音部のパートが加わることで声の重なりや響きに厚みや豊かさが増していく様子を、児童は自分の言葉でまとめていくことができた。

本実践における大きな収穫は、本授業が小学校音楽の年間指導計画に無理なく位置付けられ、今後も継続して扱える題材となったことである。

「すぐメール」についてのお知らせ

すぐメールへの登録ありがとうございます。

すぐメールは、災害発生時の非常連絡や、学校行事実施の有無、インフルエンザによる学級閉鎖等の連絡に役立っています。使用料金は通信費は別として、練馬区教育委員会が支払っています。

すぐメールは、3月末で全学年、登録が抹消されます。新年度になりましたら、新2年生、新3年生は、再度、登録をしていただきます。よろしくお願ひします。

年度末になりましたら、すぐメールでもお知らせします。